



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス

コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 賢

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼経理財務部長

(氏名) 高橋 喜春

TEL 022-218-6155

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	132,032	△1.8	△441	—	482	△71.6	717	△21.9
23年3月期第1四半期	134,386	1.6	875	19.7	1,696	12.1	918	8.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 875百万円 (67.3%) 23年3月期第1四半期 523百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	12.11	—
23年3月期第1四半期	15.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	254,911	52,068	20.3
23年3月期	262,688	51,195	19.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 51,777百万円 23年3月期 50,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	0.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	269,100	1.9	△200	—	1,280	△51.9	830	△43.5	14.00
通期	543,900	2.2	1,200	—	4,090	94.8	2,540	—	42.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	61,224,796 株	23年3月期	61,224,796 株
24年3月期1Q	1,957,858 株	23年3月期	1,957,858 株
24年3月期1Q	59,266,938 株	23年3月期1Q	61,223,858 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災による被災地の復旧・復興及び電力供給不足の長期化等により先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましては、事業子会社である(株)バイタルネット（東北・新潟を主な商圏とする医薬品卸売業）及びその子会社において、地震による建物の損壊、津波による建物への浸水や車両・商品の汚損・流出、加えて原発事故等の被害がありましたが、医療用医薬品等の安定供給という社会的使命を果たすため、営業・物流体制の復旧に全社一丸となり取り組んだ結果、(株)バイタルネットにおいては6月末までに全ての営業拠点で通常の営業活動を再開することができました。

当社グループでは、前連結会計年度からスタートした中期経営計画『統合・先進・現場力』の実践課題である、営業戦略システム『VKマーケティング』の稼働による営業競争力強化、主要な事業子会社（(株)バイタルネットと(株)ケーエスケー）の本社定型業務を受託する「(株)VKシェアードサービス」による業務効率化、CTS（物流センターにおける得意先別ピッキング体制）の進展による物流コスト削減などに取り組んでおります。

しかしながら、震災の影響によるお得意先の休業に加え、平成22年4月実施の薬価改定で大幅に薬価が引き下げられた長期収載品の販売減少、新薬価制度の導入による混乱や同業者間の競争激化による価格の低下等の影響により経営環境は非常に厳しいものとなりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高132,032百万円（前年同期比98.2%）、連結営業損失441百万円（前年同期は875百万円の連結営業利益）、連結経常利益482百万円（前年同期比28.4%）、連結四半期純利益717百万円（前年同期比78.1%）となりました。

今後といたしましては、中期経営計画の推進に一層注力し各施策の早期実現を図る一方、緊急対策として、メーカーからの最終仕切価の改善やお得意先との取引状況の見直しを図るとともに、グループ会社の再編やグループ全体での人員配置の見直し等によるコスト削減を実行し、利益の確保に努めてまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医薬品卸売事業

当社グループの主たる事業であります医薬品卸売事業におきましては、前述の通り、国による医療費抑制策により平成22年4月の薬価改定で平均6.5%の薬価の引下げが行なわれ、大幅な薬価ダウンとなった長期収載品の販売が大幅に減少したものの、薬価改定時に試行的に導入された「新薬創出・適応外薬解消等促進加算」の対象品目や新製品並びに高利益商品の販売に注力する一方、商品毎の価値に応じた単品単価交渉を推進してまいりました。また、一部のメーカーでの共同仕入による利益の獲得にも努めてまいりました。

しかしながら、お得意先の値引要請や同業者間の競争激化による価格の低下が予想よりも大きく、売上高は、128,546百万円（前年同期比98.3%）、セグメント損失（営業損失）は、536百万円（前年同期は785百万円のセグメント利益）となりました。

②その他事業

その他事業におきましては、東日本大震災によるお得意先の休業等により動物薬卸売事業や調剤事業が減収した結果、売上高は、3,486百万円（前年同期比97.8%）、セグメント利益（営業利益）は、66百万円（前年同期比93.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末から7,777百万円減少し、254,911百万円となりました。内訳は、流動資産187,344百万円、固定資産67,566百万円、繰延資産0百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金21,433百万円、受取手形及び売掛金121,254百万円、たな卸資産29,131百万円及び未収入金14,201百万円であります。なお、東日本大震災に伴う債権回収リスクに備えるため、臨時的に借入れた資金6,600百万円の返済等により、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ、10,558百万円減少しております。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産34,010百万円、無形固定資産2,330百万円、投資その他の資産31,226百万円であります。

負債は、前連結会計年度末から8,650百万円減少し、202,842百万円となりました。内訳は、流動負債182,861百万円、固定負債19,981百万円であります。

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金176,155百万円、短期借入金1,006百万円及び賞与引当金1,688百万円であります。なお、上述のとおり臨時的に借入れた資金の返済により短期借入金の前連結会計年度末に比べ、6,600百万円減少しております。

固定負債の主な内訳は、退職給付引当金8,894百万円及び負ののれん5,720百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末から873百万円増加し、52,068百万円となりました。主な増加の要因は、四半期純利益717百万円の増加及びその他有価証券評価差額金の増加143百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、16,110百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動による資金の減少は3,784百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益1,162百万円の計上、非資金項目である減価償却費571百万円の計上、たな卸資産の減少額2,685百万円等の増加要因の他、売上債権の増加額5,439百万円、仕入債務の減少額3,032百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動による資金の増加は1,460百万円となりました。これは主として定期預金の減少額1,497百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は6,736百万円となりました。これは主として短期借入金の減少額6,600百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月27日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,992	21,433
受取手形及び売掛金	115,815	121,254
たな卸資産	31,816	29,131
未収入金	14,497	14,201
その他	3,279	3,295
貸倒引当金	△2,644	△1,972
流動資産合計	194,756	187,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,553	13,301
土地	18,217	18,078
その他(純額)	2,717	2,630
有形固定資産合計	34,488	34,010
無形固定資産		
その他	2,386	2,330
無形固定資産合計	2,386	2,330
投資その他の資産		
その他	32,441	32,687
貸倒引当金	△1,384	△1,461
投資その他の資産合計	31,056	31,226
固定資産合計	67,931	67,566
繰延資産		
その他	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	262,688	254,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	179,188	176,155
短期借入金	7,606	1,006
未払法人税等	140	593
賞与引当金	1,109	1,688
その他の引当金	382	388
その他	2,704	3,028
流動負債合計	191,131	182,861
固定負債		
退職給付引当金	8,911	8,894
その他の引当金	320	207
負ののれん	5,906	5,720
その他	5,223	5,158
固定負債合計	20,362	19,981
負債合計	211,493	202,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,675	12,675
利益剰余金	29,143	29,861
自己株式	△1,200	△1,200
株主資本合計	45,618	46,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,298	5,441
その他の包括利益累計額合計	5,298	5,441
少数株主持分	278	291
純資産合計	51,195	52,068
負債純資産合計	262,688	254,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	134,386	132,032
売上原価	123,727	123,229
売上総利益	10,659	8,802
返品調整引当金戻入額	170	162
返品調整引当金繰入額	175	157
差引売上総利益	10,654	8,807
販売費及び一般管理費	9,778	9,249
営業利益又は営業損失(△)	875	△441
営業外収益		
受取利息	35	33
受取配当金	222	302
負ののれん償却額	189	186
受取事務手数料	350	352
その他	59	68
営業外収益合計	857	943
営業外費用		
支払利息	19	17
複合金融商品評価損	13	—
その他	3	1
営業外費用合計	36	19
経常利益	1,696	482
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	—	601
災害見舞金	—	206
その他	—	68
特別利益合計	0	876
特別損失		
固定資産売却損	0	1
減損損失	—	88
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	97	—
災害による損失	—	62
その他	20	43
特別損失合計	118	196
税金等調整前四半期純利益	1,577	1,162
法人税等	645	430
少数株主損益調整前四半期純利益	932	731
少数株主利益	13	14
四半期純利益	918	717

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	932	731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△408	143
その他の包括利益合計	△408	143
四半期包括利益	523	875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509	860
少数株主に係る四半期包括利益	13	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,577	1,162
減価償却費	521	571
減損損失	—	88
のれん償却額	27	1
負ののれん償却額	△189	△186
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△290	△595
賞与引当金の増減額 (△は減少)	923	578
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△47	△48
受取利息及び受取配当金	△258	△336
受取賃貸料	△24	△22
受取事務手数料	△350	△352
支払利息	19	17
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	1	9
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	6
災害見舞金	—	△206
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,282	△5,439
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,764	2,685
未収入金の増減額 (△は増加)	819	324
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,007	△3,032
その他	△4	250
小計	687	△4,523
利息及び配当金の受取額	239	315
受取事務手数料の受取額	321	342
災害見舞金の受取額	—	206
利息の支払額	△16	△16
法人税等の支払額	△1,137	△117
その他	△8	7
営業活動によるキャッシュ・フロー	85	△3,784
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	78	1,497
有形固定資産の取得による支出	△91	△55
有形固定資産の売却による収入	0	77
無形固定資産の取得による支出	△261	△105
投資有価証券の取得による支出	△14	△14
投資有価証券の売却による収入	—	111
その他	82	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206	1,460

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△580	△6,600
長期借入金の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△734	—
その他	△106	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,422	△6,736
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,543	△9,061
現金及び現金同等物の期首残高	18,194	25,171
連結子会社の非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,651	16,110

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	130,820	130,820	3,566	134,386	—	134,386
セグメント間の内部売上高又は振替高	389	389	578	967	△967	—
計	131,209	131,209	4,145	135,354	△967	134,386
セグメント利益	785	785	71	856	18	875

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額18百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	128,546	128,546	3,486	132,032	—	132,032
セグメント間の内部売上高又は振替高	331	331	664	996	△996	—
計	128,877	128,877	4,151	133,028	△996	132,032
セグメント利益又は損失(△)	△536	△536	66	△469	27	△441

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額27百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)
該当事項はありません。